

## 善玉HDLコレステロールを増加する薬は 心臓血管病の予防に効果はない

善玉コレステロールと言われているHDLコレステロールが高い人は、心臓の冠動脈の動脈硬化性の心臓病が少ないとされたきた。

本研究では、15,871人に対して、コレステロールエステル輸送タンパク質（CEETP）阻害薬、ダルセトラピブ 600 mg とプラセボ（偽薬）にランダム（無作為）に割り付けた。主要評価項目は、冠動脈疾患による死亡、心筋梗塞、脳梗塞、不安定狭心症の発症、心停止とした。

割り付け時の平均HDLコレステロールは、42 mg/dl, LDLコレステロールは76 mg/dlであった。試験期間中にプラセボ群では、投与前に比べHDLコレステロールは4-11%上昇したのに対し、ダルセトラピブ群では、31-40%上昇した。LDLコレステロールには変化はなかった。

平均31ヶ月観察した結果、ダルセトラピブは、死亡を含む主要な評価項目を改善することはなかった。

（出典：New England Journal of Medicine 2012;367:2089-2099）